

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第4部門第1区分

【発行日】令和5年10月18日(2023.10.18)

【公開番号】特開2022-65312(P2022-65312A)

【公開日】令和4年4月27日(2022.4.27)

【年通号数】公開公報(特許)2022-076

【出願番号】特願2020-173805(P2020-173805)

【国際特許分類】

E 0 4 B 1/68(2006.01)

E 0 4 B 1/66(2006.01)

E 0 4 B 2/74(2006.01)

E 0 4 C 2/30(2006.01)

E 0 4 C 2/08(2006.01)

E 0 4 B 1/343(2006.01)

10

【F I】

E 0 4 B 1/68 B

E 0 4 B 1/66 A

E 0 4 B 2/74 5 0 1 B

E 0 4 B 2/74 5 1 1 L

E 0 4 C 2/30 D

E 0 4 C 2/08 E

E 0 4 B 1/343 M

20

【手続補正書】

【提出日】令和5年10月10日(2023.10.10)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

30

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

プレハブ住宅の骨格をなすフレームに付設されて住宅外周面又はノ及び屋根面を形成しながら内外空間を区画する正面視方形のプレハブ住宅用のパネルにおいて、その少なくとも左右の端面の厚さ方向中央位置に長手方向に亘って連結溝が形成され、前記フレームの側面に長手方向に亘って設けた連結突条部材又は並列する前記パネル間でパネル端面の長手方向に沿って介装される連結部材が、前記連結溝に挿入されて嵌合することで前記パネルと前記フレーム又は前記パネル同士の連結を補強するものとされ、そのパネル本体の外面板の表面を総て覆うようにシート状又は板状の防水性素材からなる外皮体が設けられて防水層を形成しており、前記外皮体は端縁側が前記外面板の少なくとも左右の端縁線の位置で直角に屈曲して前記パネル本体の端面に密着しているとともに前記連結溝に続く角部でさらに内側に屈曲して前記連結溝の内側面に沿うように設けられており、前記プレハブ住宅の組立て時に、前記連結突条部材又は前記連結部材が前記連結溝に嵌合してその側面が前記外皮体の端縁部に密着することで、その部分に前記パネルの防水構造及び建物の内外気・液密構造を形成する、ことを特徴とするプレハブ住宅用パネル。

40

【請求項2】

前記パネル本体の外面板から内面側まで貫通して正面視方形に切り欠かれて窓を形成するための窓開口部では、前記外皮体が、前記窓開口部の位置に対応した位置に外皮開口部が形成されているとともに、前記外面板の表面から前記窓開口部に続く角部分で所定深さ

50

まで折曲げられてなる折曲挿入片が前記外皮開口部の縦横4辺総てに亘って設けられており、正面視方形の枠体を前記窓開口部に外側から嵌め込むことで、前記折曲挿入片が前記窓開口部の内側面に密着した状態で前記枠体との間に挟み込まれて防水構造を形成すること、ことを特徴とする請求項1に記載したプレハブ住宅用パネル。

10

20

30

40

50